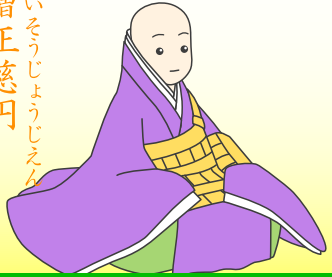


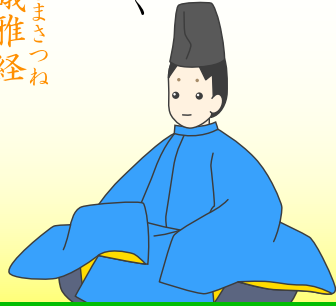
おほけなく
うき世の民に
おほふかな
わがたつ
墨染の袖

前大僧正慈円



み吉野の
山の秋風
小夜ふけて
ふるさと寒く
衣うつなり

参議雅経



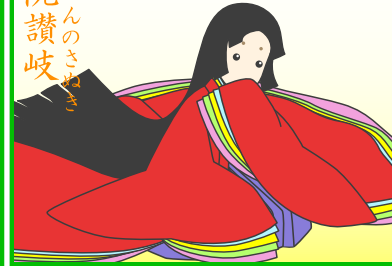
世の中は
常にもがもな
渚漕ぐ
あまの小舟の
綱手かなしも

鎌倉右大臣



わが袖は
潮干に見えぬ
沖の石の
人こそ知らね
乾く間もなし

二条院讃岐



きりぎりす
鳴くや霜夜の
さむしろに
衣かたしき
ひとりかも寝む

後京極摂政前太政大臣



わがたつそ
まにすみぞ
めのそで

ふるさとさ
むくころも
うつなり

あまのおぶ
ねのつなで
かなしも

ひとこそし
らねかわく
まもなし

ころもかた
しきひとり
かもねん